

文献

- 浜田麻里・平尾得子・由井紀久子 (1997) 『大学生と留学生のための論文ワークブック』くろしお出版.
- 原純輔・海野道郎 (2004) 『社会調査演習 第2版』東京大学出版会.
- 岩田正美 (2005) 「政策と貧困」岩田正美・西澤晃彦 (編) 『貧困と社会的排除: 福祉社会を蝕むもの』ミネルヴァ書房, pp. 15-41.
- 木下是雄 (1981) 『理科系の作文技術』中央公論新社.
- 国府田晶子 (2004) 「絵本と対話による「読み書き能力」の育成: JSL教育を必要とする定住型児童を対象に」『早稲田大学日本語教育研究』5, pp. 61-75.

注釈

- ・ 並び順: Hamada → Hara → Iwata → Kinoshita → Koda。なるべく本人が使っているローマ字つづりを確認する。
- ・ 各文献の2行目以降は2文字下げる。Microsoft Word では [書式] → [段落] で最初の行を「ぶら下げ」にする。
- ・ 「」内に「」が入る場合も、二重カギ括弧などにする必要はない。なるべく原文のタイトルの表示そのままを書く。
- ・ 副題が付いている場合はコロン (:) で区切る
- ・ 版表示は『社会調査演習』(第2版) のようにしてもよい
- ・ ページ範囲には、ハイフン (-) ではなく半角ダッシュ (-) を使う。Microsoft Word では [挿入] → [記号と特殊文字] → [特殊文字] で入力できる
- ・ pp. の後は半角スペースを入れる
- ・ 各文献の最後はピリオド
- ・ 木下 (1981) は『理科系の作文技術』(中公新書) のようにシリーズ名を注記してもよい。出版年が1981なのに出版社を「中央公論新社」とするのは矛盾であるが、やむをえない。
木下是雄 (2002) 『理科系の作文技術』(46版) 中央公論新社。
のように書く手もある。